

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	東書「科学と人間生活」(科人 701)	副教材	ニューサポート科学と人間生活		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×4 = 8 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考查範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び 科学技術と人間生活との関わり についての理解を深め、科学的 に探究するために必要な観察、 実験などに関する技能を身に付 ける。	観察、実験などを行い、人間生活 と関連付けて科学的に探究する 力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わ り、科学的に探究しようとする 態度を養うとともに、科学に対 する興味・関心を高める。

【年間指導計画】※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 編 1 章 微生物とその利用 1 さまざまな微生物	○	○□		No.1	○	○	○	5
5	2 私たちの暮らしへの微生物の利用	○	○□		No.1 5/8	○	○	○	7
6	2 編 1 章 材料とその再利用 1 リサイクルとは何か 2 金属の性質とその再利用	○□	○□		No.2 6/12 No.3	○	○	○	5
7	3 プラスチックの性質とその再利用	○□	○□		No.3 7/10	○	○	○	4
8	試験対策								
9	前期期末試験 3 編 2 章 熱の性質とその利用 1 熱とは何か			○□	No.4	○	○		8
10	2 エネルギーの利用と私たちの暮らし	○	○□		No.4 10/9 No.5 10/23	○	○	○	8
11	4 編 2 章 自然景観と自然災害 1 身近な自然景観の成り立ち 2 自然災害と防災	○□	○□		No.6 11/28	○	○	○	4
12	試験対策	○□	○□			○	○	○	2
1	後期期末試験(3 年)			○□		○	○		